

# 平成21年度八重山群島病害虫発生予報第1号(4月予報)

## 4月の気象予報

向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

	平均気温	降水量	日照時間
高い(多い)	40	20	40
平年並	40	40	30
低い(少ない)	20	40	30

(平成21年3月20日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

## 平均値

	平均気温( )	最高気温( )	最低気温( )	降水量(mm)	日照時間(h)
八重山群島(石垣島)	23.2	25.8	21.0	153.9	137.2

(沖縄気象台発表・統計期間1971～2000・資料年数30年)

## 4月の発生予報および防除上の注意事項

### 1 さとうきび

#### (1)カンシャコバナナガカメムシ

発生程度 : 多

予報の根拠

- 3月中旬の調査の結果、茎当たりの虫数は67.8頭(前年38.2頭、平年29.2頭)と平年より多かった。
- 2～3月の気温に基づき、3月25日時点で防除適期を予想すると、2月以降の気温が高かったことから、平年よりも予想日が11～13日早かった。

防除上注意すべき事項

- この時期に茎当たり虫数が15頭を超える地域は一斉防除をすることが望ましい。
- 薬剤防除の際は周辺住宅地や隣接圃場に薬剤が飛散しないよう風向きに注意する。
- 平成21年度技術情報第1号(平成21年3月26日付け)参照。

### 防除適期予想日(3月25日現在)

地域別	防除適期	2.5齢期予想日		
		本年	平年	平年差
石垣島及び周辺離島	3月21日～4月4日	3月28日	4月10日	13日早い
与那国島	3月25日～4月8日	4月1日	4月12日	11日早い

### カンシャワタアブラムシの防除対策

- 3月中旬の調査の結果、一部圃場で多発生が見られた。
- 気象予報によると向こう1か月の気温は平年並又は高い確率ともに40%、また降水量の平年並又は少ない確率は40%で、本種の発生が助長されやすい。
- 多発すると吸汁による生育阻害のほか、すす病を併発し光合成を阻害することから、発生初期の薬剤防除を徹底する。

## 2 マンゴー

### 着果期の病害虫防除対策

- a 3月中旬の調査の結果、一部施設で炭疽病やチャノキイロアザミウマ、コシロモンドクガの発生が見られた。
- b 罹病部や新梢等の剪定残渣は病害虫の発生源となるので、ビニール袋に入れるなどして速やかに施設外に持ち出し処分する。
- c 防風垣の剪定や施設内外の除草をおこない、ハウス内の通気性を良くし、病害虫の発生源をなくす。
- d 病害虫の発生程度はまだ低いものの、気温の上昇とともに増加すると予想されることから、早期発見・早期防除に努める。